

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県）

【第 34 週（2024/8/19～8/25）感染症発生動向調査速報値（2024/8/28 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数： **475** 人、定点医療機関当たり **10.11** 人

※インフルエンザ/COVID-19定点（小児科29定点、内科18定点）

図1. COVID-19週別発生動向の推移（全国、富山県）

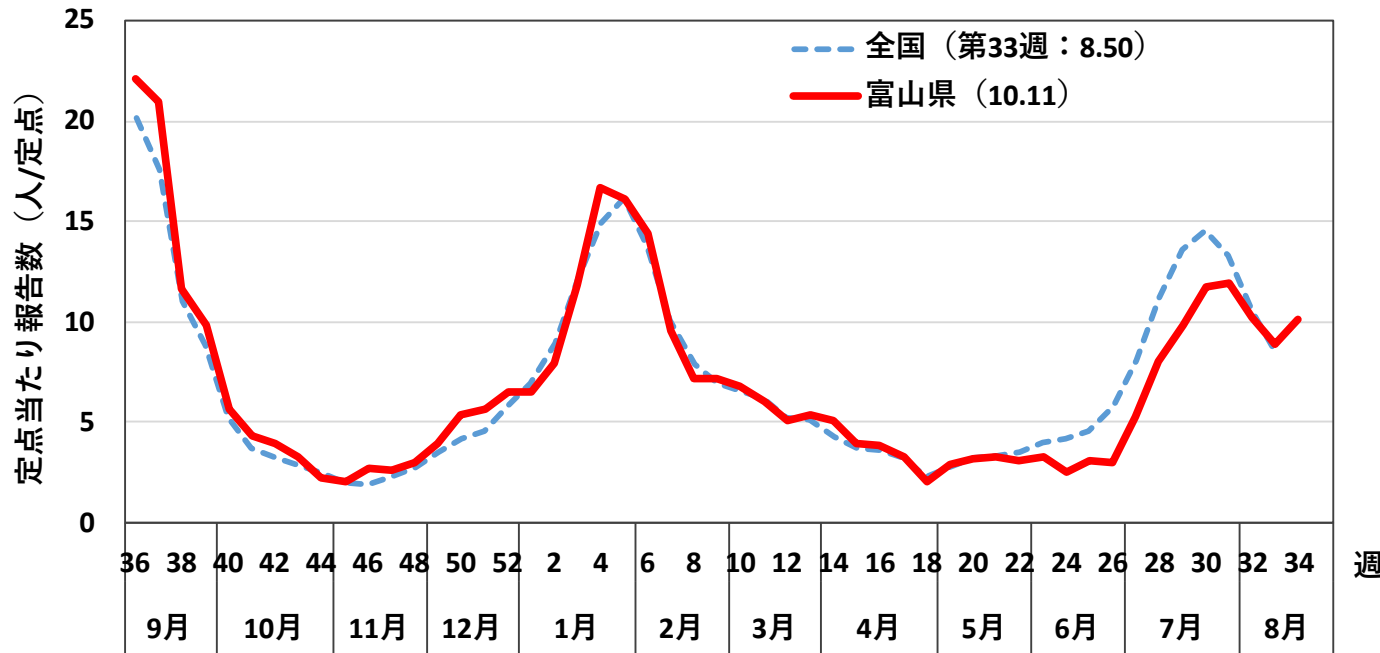
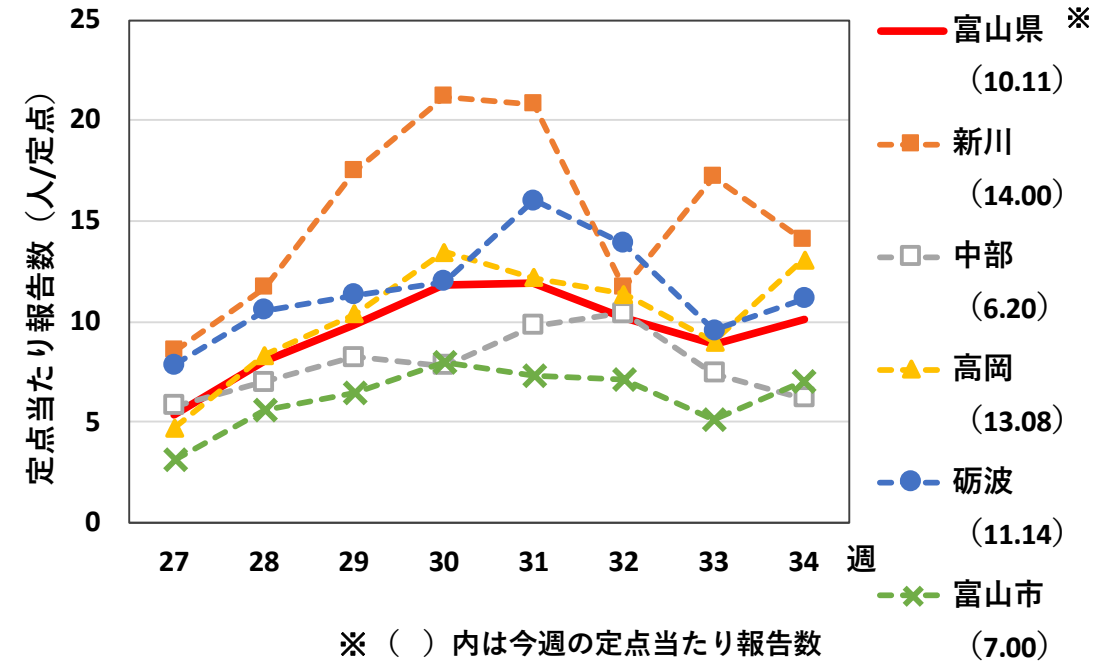


図2. 厚生センター（保健所）管内別発生動向の推移



- 今週の定点医療機関当たり報告数は10.11人/定点であり、先週（8.86人/定点）から増加した（図1）。
- 厚生センター・保健所管内別にみると、新川、中部管内は減少したが、高岡管内で増加した（図2）。

図3. 年齢階級別COVID-19報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

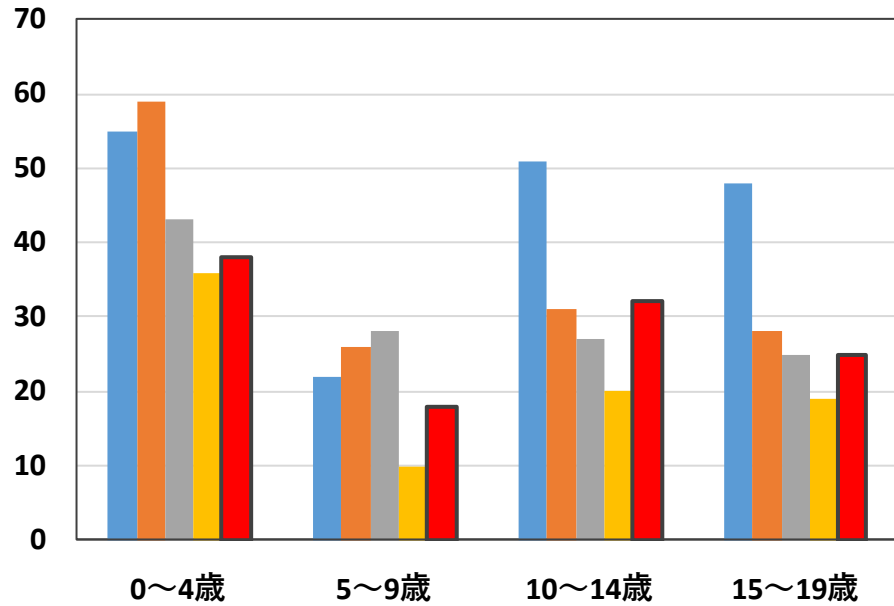
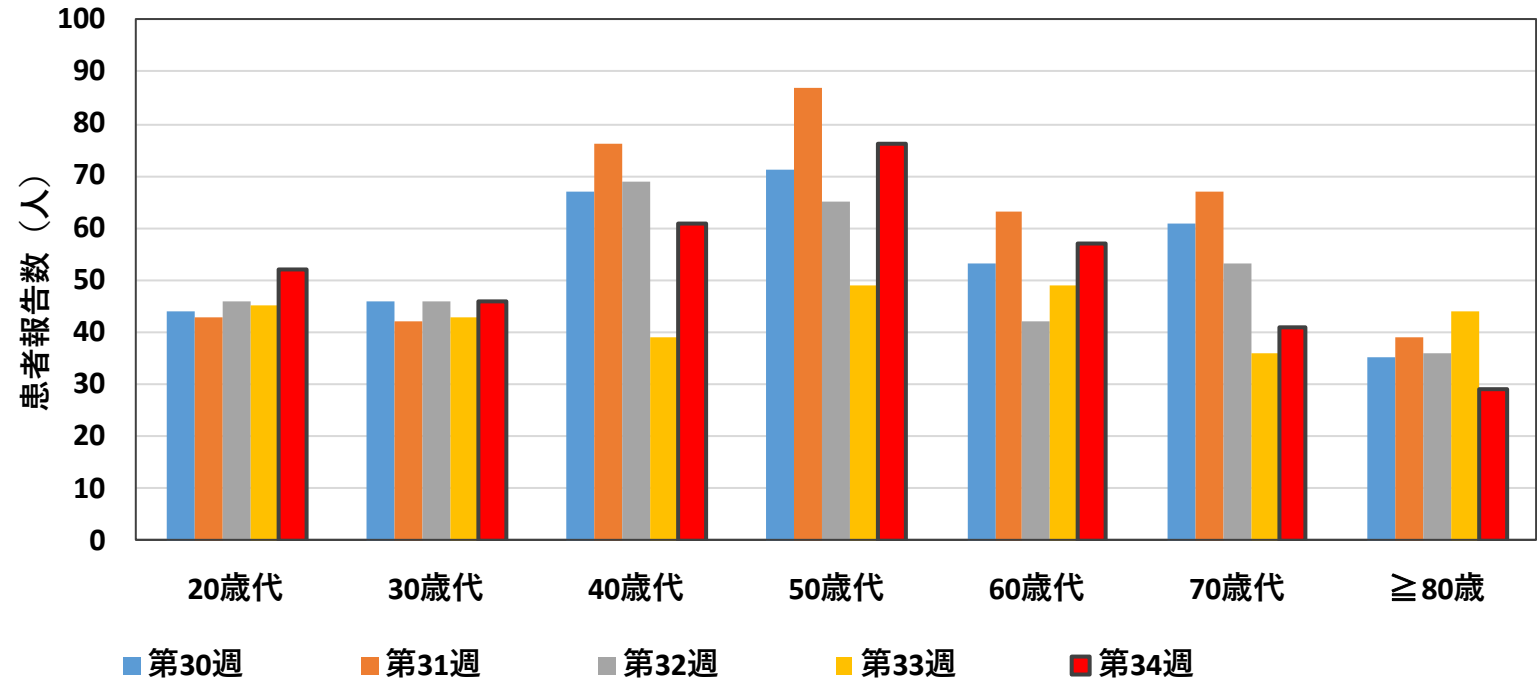


図3-2. ≥20歳



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：18定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 5～14歳、40～50歳代は先週から増加し、80歳以上は減少した。それ以外の各年齢層では先週からほぼ横ばいであった。

図4. COVID-19入院サーベイランス
患者報告数の推移（富山県）

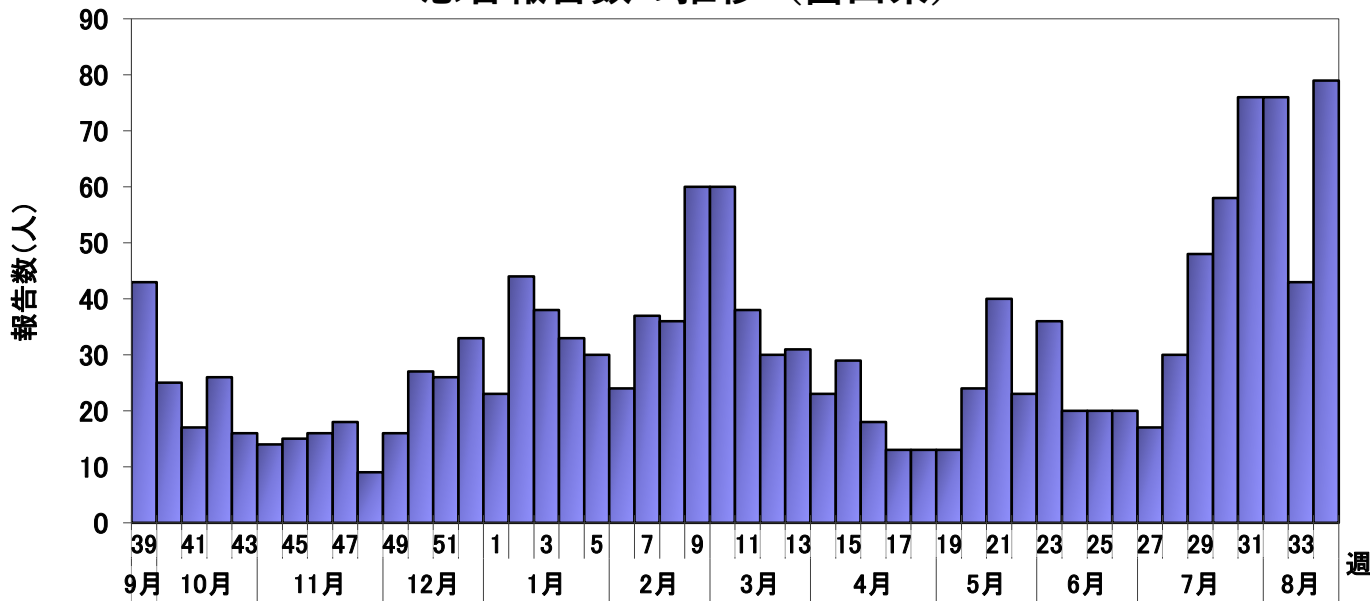
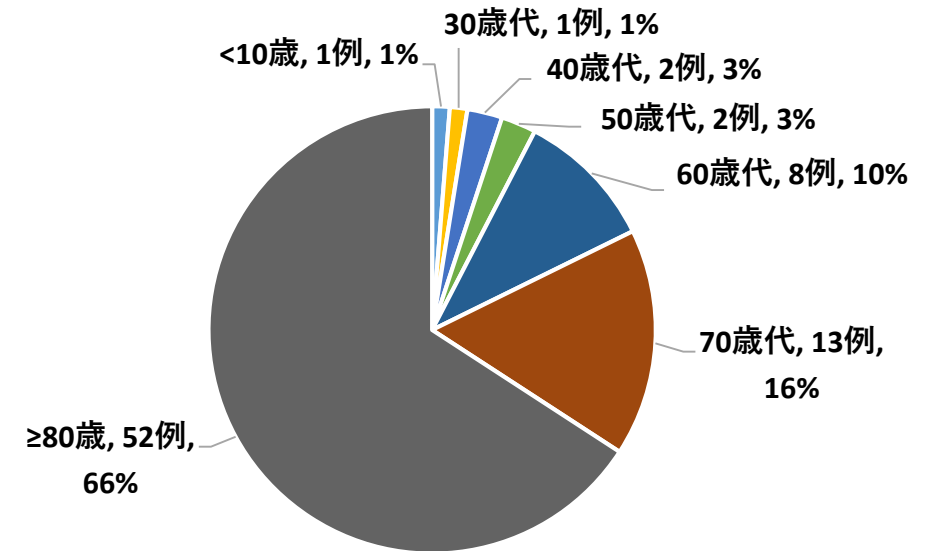


図5. COVID-19入院サーベイランス
年代分布（第34週、79例）



※割合 (%) は四捨五入した整数で表記されるため、合計が100%にならない場合がある。

- ・ 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第34週に79例の入院報告があり、先週（43例）から増加した（図4）。
- ・ 患者の年代は、10歳未満と30歳代が各1例、40歳代と50歳代が各2例、60歳代が8例、70歳代が13例、80歳以上が52例で、70歳以上が82%を占めた（図5）。
- ・ COVID-19の患者報告数は、県内では第32週から2週連続で減少していたが、今週増加に転じた。また、入院患者数はサーベイランスが開始した2023年第39週以降最も多く、引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。